

事業所名

ままはぐ長崎事業所

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

10日

法人(事業所)理念	『ご利用児とご家族を支え、一緒に悩み、喜び、共に歩む』 それぞれの利用児に合わせて、楽しさや喜びを感じて頂けるような時間を過ごせる環境を整えます。 ご利用児が表現してくれる小さなサインを見逃さず受け止め、強みを大切に、成長発達のための支援をします。 ご家族のレスパイトの提供、ご相談など、ご家族に寄り添い、共によりよい方法を考えサポートします。		
支援方針	一人ひとりに合った「たくましく生きる力」を育て活かすことが、障害児支援において最も重要であると位置づけています。 ご利用児に真っ直ぐ向き合い、何が必要かを考え実践するための『環境』を整えます。 ご本人の気持ちや保護者様の思いを大切に『個別支援計画』を作成します。 一人ひとりにあった経験や交流を通じて「楽しさ」「喜び」を感じ、笑顔で過ごせるよう様々な体験・交流・支援を行います。		
営業時間	10時0分から14時0分まで 14時0分から16時30分まで	送迎実施の有無	あり なし

		支援内容
本人支援	健康・生活	<p>○健康状態の把握-来所時に検温(こもり熱や低体温)脈拍、酸素飽和度を測定し、記録する。必要時には血圧測定を行う。</p> <p>○呼吸管理(人口呼吸器・経鼻酸素)、与薬、吸入、吸引は医師の指示書に従って行う。</p> <p>○食事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経口食-見守り、介助を行っている。 ・胃ろう-(医師の指示書にそって看護師が行う)栄養剤、ミキサー食を決められた時間に注入している。 ・保育園移行に向けて「自分で食べられるように」を意識している。 スプーン・フォークは使えるが難しい子→練習しつつ、まずは手づかみで上手に食べられるようになることを目標とする。 コップにお茶を1、2滴入れて安全に配慮しながらコップで飲むことができるよう支援する。 スプーン・フォークが上手に使えるようになった子→箸に移行する為、下から握らせる。コップで飲むことが上手になるよう少量のお茶を入れて飲む練習をする。 ・アレルギー対応-食事支援をする児童にアレルギー対応の子はいないので、細かくは設定していないが、アレルギー一覧表を掲示したり、アレルギー対応用のハサミを準備したりしている。今後必要に応じて適切な配慮を行う。 <p>○与薬-胃ろうより注入、または経口による内服を看護師が行う。</p> <p>○排泄-自立排泄に向けての支援。おまるに慣れる、座ることを習慣化する。 排泄リズムが整ってできるようになったら、もしくは本人がトイレに座りたがるようになったら、子供トイレに移行していく。</p> <p>○睡眠-それぞれのリズムに合わせて事業所で安心して過ごせるようにする。眠剤を使っているかなどの確認を保護者と密に行う。 生活リズムを整える為、お昼寝はできるだけ行う。</p> <p>○身辺自立-着替えや片付けなど、その子に合ったやり方で出来るよう、できた喜びが味わえるよう支援していく。 自分で脱ぐ・着る・履く・片付けるを意識できるよう、自分のものを自分の場所に置けるよう、シールで統一している。</p>

<p>運動・感覚</p>	<p>その子の得意な動き、苦手な動きなどを知り、他事業所や訪問リハスタッフ、PT、OTとも連携する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立位や座位時に正中位を感じ取れるよう支援し（ボディイメージ）、姿勢の維持や立位、座位の獲得を目指す。 ・ 身体の動きから傾きを感じしたり、揺れやスピードなど臥位や座位など静的な動きでは感じることでできない感覚を養う。 ・ 姿勢の変化に伴う視覚の変化、臥位と座位での見える景色の違いを感じ取る。 ・ ままはぐに通所し、活動に参加することで昼夜の感覚や生活リズムの獲得を目指す。 ・ 季節や自然を感じる。外を散歩する。季節の行事を取り入れる。 ・ 手首や指、身体を動かすことで、微細運動を刺激する。 ・ 思いつきり身体を動かして遊ぶ。 ・ 歌、拍子に合わせた動きを行うことで、リズム感や反射機能を養う。 ・ お友達と一緒に楽しむ喜びや、支援員との関わりの中で信頼関係を築く。 ・ 支援員の話や、支援員の動作を模倣する、お友達と順番に行うなどして、協調性や社会性を養う。 ・ 楽しいね、上手にできたねなど子供の気持ちを代弁したり、共有したりするようにする。 ・ 子どもに合わせた動きをして一緒に楽しむ。 <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆サーキット遊び◆ <ul style="list-style-type: none"> ・ 横歩きや後ろ歩き、大股や小股で歩くなど様々な応用歩行を体験し、歩行の安定性の向上を図る。 ・ トンネルをハイハイでくぐったり、坂道を登ったりすることで体幹の筋力を高める。 ・ 棒を跨いだり、輪投げをしたり、平均台を歩いたりしてバランス能力を高める。 ・ 様々な運動を組み合わせることでワクワクドキドキを味わう。 ◆絵の具遊び◆ <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵の具で手形や足形をとってみよう。 ・ 絵の具とお湯の温度の違い、心地よさを知る。 ・ 冷たい、ぬるぬる、くすぐったいの感覚を刺激する。 ・ 視覚で色を感じ視線や手足の動きで気持ちを表そうとする。 ・ 手を合わせて支援員との触れ合いも楽しめるようにする。 ・ 赤、青、黄色、色々な色があることを知らせ、利用児が決められるように選択できる言葉かけをしていく。目や顔の動きで支援員も読み取っていく。 ・ 筆で足の裏や手のひらを刺激する。 ・ その都度声掛けを行っている。色や感触、楽しい、嫌だ、等子供の表情から気持ちを代弁してコミュニケーションをとっている。
<p>認知・行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筋肉や関節の中で得る感覚を感知することで力の加減を知る。 ・ 身体認識や、物体との自分の体の位置関係を捉えることで空間認知能力を育てていく。 ・ 季節に合った身近な生き物、食べ物、乗り物などが歌詞に出てくることで、名前を覚えたり季節を感じる。 ・ 繰り返し歌うことで楽しさを味わえるようにする
<p>言語 コミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SP02、脈拍、顔色、表情の変化等を観察し、快不快を読み取る。 ・ コミュニケーションをとる感覚を育む。 ・ 楽しい歌やリズム、目と目を合わせ、身体に触れあって愛着関係を築く。
<p>人間関係 社会性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭以外の人との関り、地域の人や環境に触れ合う。 ・ 安心、信頼関係の構築。 ・ 安心して通えるよう、預けられる事業所、支援員になる。 ・ 小学校、保育園、幼稚園に通える、移行を目指す。 ・ 友達と一緒に歌を歌ったり、笑ったりすることで楽しい雰囲気やうまれ表現力を育む。 ・ 散歩や、施設外に出かけた時、こんにちは挨拶したり、お話することで家族以外の人との交流の場になる。近隣地域との関りが増え、交流できる。 ・ 支援員が楽しんで、一緒に楽しい雰囲気を作る。

<p>家族支援</p>	<p>【児童発達支援】 ご家族が安心して子育てをすることができるように身近な良き相談相手となり、悩みや困りごとなど思いを受け止め、丁寧に寄り添う。 お子様の身体のケアなどを担う中で抱え込むことがないように、リラックスできる時間を持ち、心にゆとりが生まれてくるようサポートする。 保護者のご意向に合わせて地域保育園と連携し移行に繋げる。</p> <p>【放課後等デイサービス】 障害のあるお子様を育てるご家族が未来を思い描き向かっていけるように支える。 保護者と同じ目線でお子様の成長に向き合い、進路や将来について一緒に考え、成長の段階に応じた対応、情報提供を行う。 家庭と仕事との両立、ご兄弟姉妹のお世話、ご家族のレスパイトの時間を確保し、生き生きと充実した時間が持てるように支援する。 継続した支援が受けられるように福祉サービスの情報提供や病院同行、リハビリ同行など関係機関との連携を行う。</p>	<p>移行支援</p>	<p>【児童発達支援】 主に6歳までの未就学のお子様を対象とした通所事業所です。 お子様と一緒に楽しさや喜びを感じられる時間を過ごし、成長のサポートをします。 又、看護師・保育士が常駐していますので、重症心身障がい児・医療ケア児のお子様も安心してご利用頂けます。 児童発達支援での色々な体験や療育を通して、保育園への移行を支援します。</p> <p>【放課後等デイサービス】 小学校1年生～18歳までのお子様を対象とした通所事業所です。 各学校までお迎えに行き、事業所で過ごし、ご自宅へお送りします。 夏休みなどの長期休みは、ご自宅へ送迎します。 又、看護師・保育士が常駐していますので、重症心身障がい児・医療ケア児のお子様も安心してご利用頂けます。 お子様1人1人に合った支援と共に、ご家族様の心に寄り添いながら、将来の就労や生活介護に向けて支援します。 同時に、お子様や保護者様のニーズに合わせて各関係機関等と連携し、必要な支援をスムーズに受けられるよう支援します。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が商店街の中にあるので、近隣の方々との距離も近く、温かく見守って頂いている。積極的に交流を持ち、色々な関わりを楽しむことができる。 ・他事業所や相談機関との関係を強化し、その都度必要な支援を受けられる体制を整える。 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村で開催される研修へ積極的に参加。 ・事業所内研修や各種訓練の実施。 ・児発管や管理者ハステップアップするための研修受講。
<p>主な行事等</p>	<p>4月 お花見 5月こどもの日のお祝い 7月七夕祭り 8月プール・夏祭り 9月お月見 10月ハロウィン 11月紅葉 12月クリスマス会 1月新年のお祝い 2月雪遊び・節分・豆まき 3月卒業式・進級お祝い会</p>		